受益者の皆様へ

　毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。
　さて、「為替ヘッジ付ソブリン／農業関連オープン（愛称　うるおいの大地）」は、このたび、第13期の決算を行いました。
　当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、高格付の先進国のソブリン債へ投資を行い安定した金利収入を確保しつつ、わが国の農業に関連する上場（上場予定を含みます。）株式および世界の農業に関連する指数へ投資を行い、投資信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行いました。
　ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。
　今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

第13期末（2021年８月16日）	
基準価額	10,641円
純資産総額	728百万円
第13期	
騰落率	2.1%
分配金（税引前）合計	100円

（注）騰落率は分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第２位を四捨五入して表示しております。
（注）純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、岡三アセットマネジメントのホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。

○運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

＜運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法＞
ホームページのファンド情報から当ファンドのファンド名称を検索することにより、運用報告書（全体版）を閲覧およびダウンロードすることができます。

為替ヘッジ付ソブリン／農業関連オープン（愛称　うるおいの大地）

追加型投信／内外／資産複合

作成対象期間：2021年２月16日～2021年８月16日

交付運用報告書

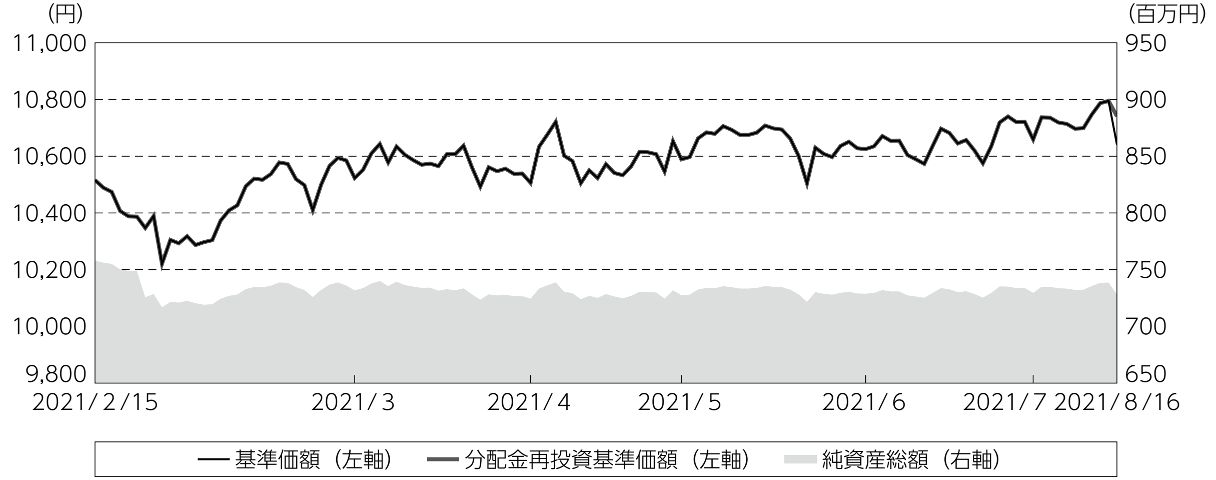
第13期（決算日　2021年８月16日）

岡三アセットマネジメント
〒104-0031　東京都中央区京橋２－２－１
お問い合わせは弊社営業部　セールスサポートグループへ
フリーダイヤル 0120－048－214（営業日の9:00～17:00）
[ホームページ]
https://www.okasan-am.jp
※アクセスにかかる通信料はお客様のご負担となります。

運用経過

期中の基準価額等の推移

（2021年２月16日〜2021年８月16日）



期　首：10,516円
期　末：10,641円（既払分配金（税引前）：100円）
騰落率：　2.1％（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
（注）分配金再投資基準価額は、期首（2021年２月15日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
（注）上記騰落率は、小数点以下第２位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

　当ファンドの主要投資対象ファンドにおける主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

（主なプラス要因）

○為替ヘッジ付ソブリンオープン（適格機関投資家専用）

・保有債券の利息収入を獲得したことがプラス要因となりました。

・スウェーデン国債の利回りが低下し、保有債券の価格が上昇したことがプラス要因となりました。

○農業関連日本株マザーファンド

・三菱ケミカルホールディングス、ＡＤＥＫＡ、トプコンなどの株価上昇がプラス要因となりました。

　保有していたInvesco DB Agriculture Fund（ＥＴＦ）の価格（円換算後）が値上がりしたことがプラス要因となりました。

（主なマイナス要因）

○為替ヘッジ付ソブリンオープン（適格機関投資家専用）

・シンガポール国債、カナダ国債の利回りが上昇し、保有債券の価格が下落したことがマイナスに影響しました。

○農業関連日本株マザーファンド

・イオン、クレハ、ウエストホールディングスなどの株価下落がマイナスに影響しました。

１万口当たりの費用明細

（2021年２月16日～2021年８月16日）

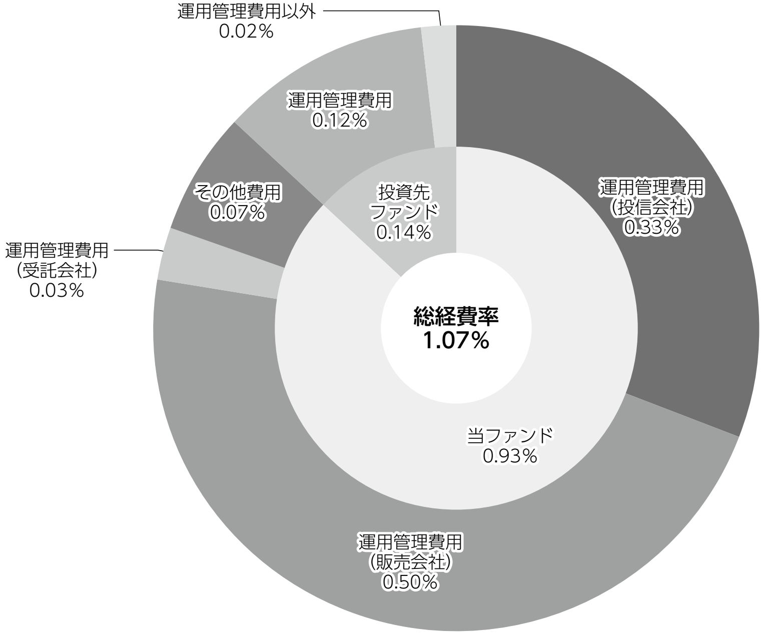
項目	当期 金額	当期 比率	項目の概要
	円	%	
(a) 信託報酬	45	0.428	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（投信会社）	(17)	(0.165)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(26)	(0.247)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(2)	(0.016)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	6	0.057	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（株式）	(6)	(0.057)	
(c) その他費用	4	0.034	(c)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	(3)	(0.027)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(1)	(0.007)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（その他）	(0)	(0.000)	その他は、金銭信託支払手数料
合計	55	0.519	
期中の平均基準価額は、10,520円です。			

（注）期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
（注）各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
（注）売買委託手数料およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
（注）各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。
（注）当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「１万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。
（注）各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第３位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.07％です。



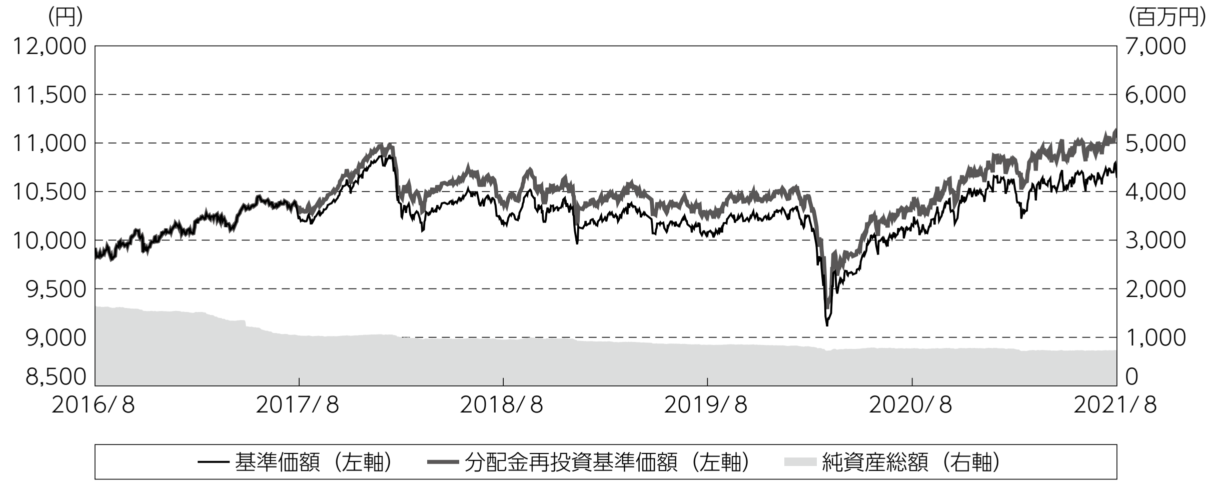
（単位：％）

総経費率（①＋②＋③）	**1.07**
①当ファンドの費用の比率	0.93
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.12
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.02

（注）当ファンドの費用は１万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
（注）各比率は、年率換算した値です。
（注）投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。
（注）当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
（注）当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。
（注）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近５年間の基準価額等の推移

（2016年８月15日～2021年８月16日）



（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
（注）分配金再投資基準価額は、2016年８月15日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2016年８月15日 期初	2017年８月14日 決算日	2018年８月14日 決算日	2019年８月14日 決算日	2020年８月14日 決算日	2021年８月16日 決算日
基準価額　(円)	9,920	10,217	10,209	10,067	10,163	10,641
期間分配金合計(税引前)　(円)	－	100	100	0	0	200
分配金再投資基準価額騰落率　(%)	－	4.0	0.9	△ 1.4	1.0	6.7
FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)騰落率　(%)	－	△ 3.4	△ 1.4	7.8	3.7	△ 0.8
東証株価指数(TOPIX)騰落率　(%)	－	21.5	7.0	△ 12.4	8.3	18.6
純資産総額　(百万円)	1,652	1,035	955	846	774	728

（注）上記騰落率は、小数点以下第２位を四捨五入して表示しております。
（注）純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
（注）騰落率は１年前の決算応当日との比較です。
（注）FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ヘッジ・円ベース）、東証株価指数（TOPIX）は当ファンドの参考指数です。参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する指数として記載しているものです。詳細につきましては、最終ページをご覧ください。

投資環境

(2021年２月16日～2021年８月16日)

債券市場は、欧州以外の投資国の債券利回りが上昇しました。期初から2021年５月にかけては、新型コロナウイルスのワクチン接種の進展を背景に景気回復期待が高まり、債券利回りが上昇しました。カナダ銀行（中央銀行）が国債買い入れペースの縮小を発表したことや、米連邦準備制度理事会（ＦＲＢ）による早期の利上げ観測の高まりも、利回りの上昇要因となりました。しかしその後は、世界的に新型コロナウイルスの変異株（デルタ株）が流行し、景気の回復ペース鈍化に対する懸念が強まったことや、欧州中央銀行（ＥＣＢ）がインフレ目標のハードルを引き上げ、現在の金融緩和策が継続されるとの見方が強まったことなどを受けて、債券利回りが低下する展開となりました。

国内株式市場は高値圏で一進一退の展開となりました。世界的な景気の回復や日本企業の業績改善が好材料となった一方、デルタ株の感染拡大や、米国の金融政策の緩和縮小観測が株価の上値を抑える要因になりました。

農産物市場は上昇しました。世界的に新型コロナウイルスのワクチン接種が進展し、農産物の需要回復期待が高まったことに加え、いち早くコロナ禍から脱した中国の旺盛な需要などが相場の上昇要因となりました。また、主要な穀倉地帯である米国中西部地域においてトウモロコシおよび大豆の作付面積が市場予想を下回ったことも、需給引き締まりに繋がるとの見方から買い材料となりました。

当ファンドのポートフォリオ

(2021年２月16日～2021年８月16日)

「為替ヘッジ付ソブリンオープン（適格機関投資家専用）」の組入比率が60％程度、「農業関連日本株マザーファンド」と世界の農業に関連する指数に連動することを目指す上場投資信託証券（ＥＴＦ）の組入比率の合計が40％程度となるように組入れを行いました。

「為替ヘッジ付ソブリンオープン（適格機関投資家専用）」では、ドイツ国債の組入比率を引き下げる一方、米国債の比率を引き上げ、米国債とスウェーデン国債の組入比率を相対的に高位に維持しました。また、相場動向に応じて、年限別の投資配分の調整を行い、当期間におきましては中長期債中心の保有としました。

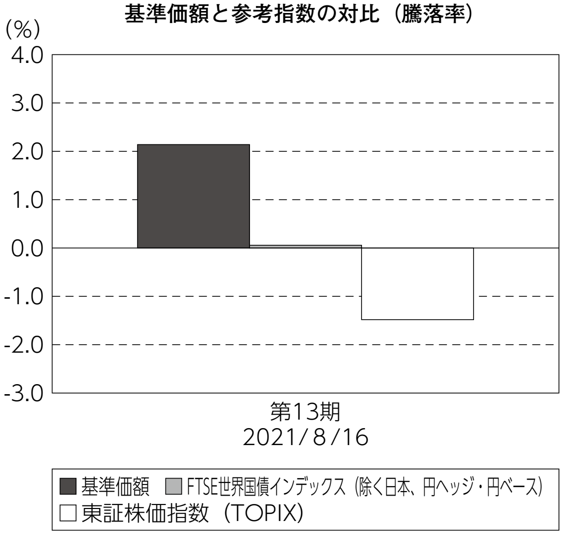
「農業関連日本株マザーファンド」では、株価の上昇した農業用機械関連株の利益確定や、農業関連事業を手掛ける商社株の新規組入れなどを行いました。

ＥＴＦにつきましては、Invesco DB Agriculture Fundの組入れを継続しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

（2021年２月16日～2021年８月16日）

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



（注）基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。
（注）参考指数は、FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ヘッジ・円ベース）、東証株価指数（TOPIX）です。

分配金

（2021年２月16日～2021年８月16日）

当ファンドは、毎年２月14日および８月14日（それぞれ休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額として、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案して決定します。

この基本方針に則り、当期の分配については１万口当たり100円（税引前）とさせていただきました。なお、収益分配に充てなかった留保益については、運用の基本方針と同一の運用を行います。

（単位：円、１万口当たり・税引前）

項　　目	第13期 2021年２月16日～ 2021年８月16日
当期分配金	100
(対基準価額比率)	0.931%
当期の収益	100
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	1,143

（注）対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

（投資環境）

債券市場は、新型コロナウイルスのワクチンの普及などを背景とした景気回復期待や、ＦＲＢの金融政策スタンスが金融緩和の縮小に前向きな姿勢に転換しつつあることは、利回りの上昇要因になると考えられます。一方、世界的に新型コロナウイルスが再拡大していることや、ＥＣＢの金融緩和策が当面継続されるとの見方を背景に、欧州債券の金利先高観が後退していることなどから、利回りは一進一退の推移を予想しております。

国内株式市場は、世界的に景気の回復スピードが鈍化すると想定されることや、国内の政治情勢の先行き不透明感などから、当面は上値の重い展開になると見ています。

農産物市場は当面はもみ合う動きになると予想します。世界的にデルタ株の感染が拡大しており、早期の経済正常化に伴う景気回復期待が後退しつつあることに加え、足元の米国産穀物の作柄は良好であり豊作が予想されています。しかし中期的には、世界のワクチン接種率の上昇とともに農産物需要も回復が見込まれ、価格は緩やかに上昇基調を辿ると考えます。

（運用方針）

＜為替ヘッジ付ソブリン／農業関連オープン（愛称　うるおいの大地）＞

「為替ヘッジ付ソブリンオープン（適格機関投資家専用）」の組入比率が60％程度、「農業関連日本株マザーファンド」と世界の農業に関連する指数に連動することを目指すＥＴＦの組入比率の合計が40％程度となるように運用を行っていく方針です。なお、ＥＴＦにつきましてはInvesco DB Agriculture Fundの組入れを維持する方針です。

○為替ヘッジ付ソブリンオープン（適格機関投資家専用）

国別投資比率については、米国債の組入比率を高めに維持する方針です。また、利回りが上昇する局面では、期間が長めの債券の比率を引き上げる方針です。

○農業関連日本株マザーファンド

農業・食料・バイオ等、広く農業に関連する国内の株式の中から成長性、バリュエーション等を勘案し、株価上昇余地が大きいと判断した銘柄へ投資する方針です。

お知らせ

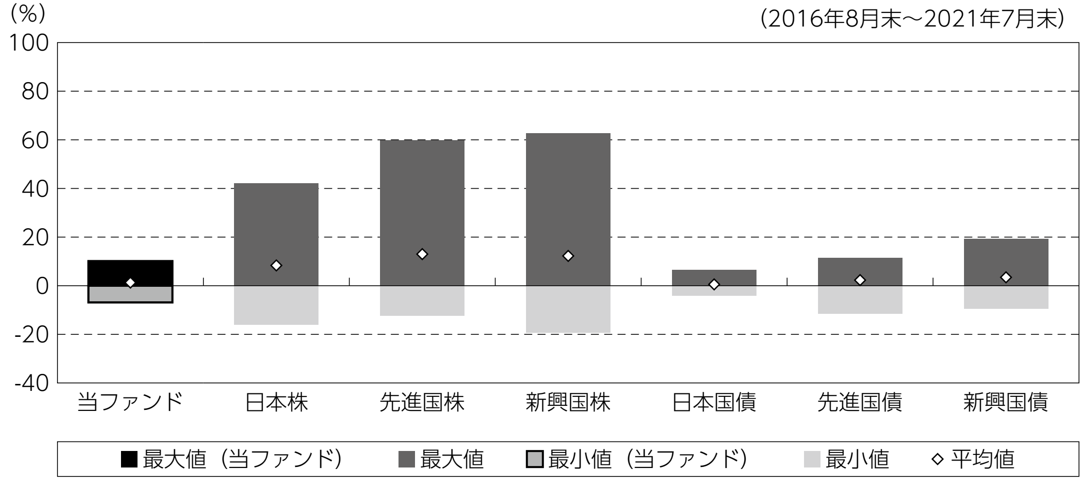
該当事項はございません。

当ファンドの概要

<table>
<tr><td>商　品　分　類</td><td>追加型投信／内外／資産複合</td></tr>
<tr><td>信　託　期　間</td><td>2015年２月23日から2025年２月14日までです。</td></tr>
<tr><td>運　用　方　針</td><td>投資信託証券への投資を通じて、高格付の先進国のソブリン債へ投資を行い安定した金利収入を確保しつつ、わが国の農業に関連する上場（上場予定を含みます。）株式および世界の農業に関連する指数へ投資を行います。
実質組入外貨建資産について、先進国のソブリン債には原則として為替ヘッジを行い、世界の農業に関連する指数には原則として為替ヘッジを行いません。</td></tr>
<tr><td>主要投資対象</td><td>各資産への投資にあたっては、以下の投資信託証券を通じて行います。
<table>
<tr><td>投資対象資産</td><td>投資対象とする投資信託証券</td><td>組入比率</td></tr>
<tr><td>先進国のソブリン債</td><td>為替ヘッジ付ソブリンオープン（適格機関投資家専用）</td><td>60％程度</td></tr>
<tr><td>農業関連の日本株式</td><td>農業関連日本株マザーファンド</td><td rowspan="2">40％程度※</td></tr>
<tr><td>世界の農業に関連する指数</td><td>上場投資信託証券（ＥＴＦ）</td></tr>
</table>
※指数に連動することを目指すＥＴＦの組入比率は、原則として10％以内とします。</td></tr>
<tr><td>運　用　方　法</td><td>先進国のソブリン債への投資にあたっては、FTSE世界国債インデックス（参考市場を含む）の採用国のうち、取得時において、ＡＡＡ格相当のソブリン債を投資対象とし、ポートフォリオ全体のデュレーションは原則として８年以内とします。
わが国の株式への投資にあたっては、農業・食料・バイオ等、広く農業に関連する株式の中から成長性、バリュエーション等を勘案して銘柄を選定します。
世界の農業に関連する指数への投資にあたっては、原則として世界の農作物等によって構成される指数に連動することを目指す上場投資信託証券（ＥＴＦ）への投資を通じて行います。ＥＴＦの銘柄選定については、実質的な投資対象、ＥＴＦの流動性、コスト等を勘案して決定します。</td></tr>
<tr><td>分　配　方　針</td><td>毎年２月14日および８月14日（それぞれ休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。
分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。繰越分を含めた配当等収益には、マザーファンドの配当等収益のうち、投資信託財産に帰属すべき配当等収益を含むものとします。
分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案して決定します。分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。</td></tr>
</table>

（参考情報）

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



（単位：%）

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	10.1	42.1	59.8	62.7	6.5	11.4	19.3
最小値	△ 6.9	△ 16.0	△ 12.4	△ 19.4	△ 4.0	△ 11.4	△ 9.4
平均値	1.3	8.3	13.0	12.3	0.5	2.3	3.5

（注）全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
（注）2016年８月から2021年７月の５年間の各月末における直近１年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。
（注）上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。
（注）当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》
日 本 株：東証株価指数（TOPIX）（配当込み）
先進国株：MSCI － KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）
新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）
日本国債：NOMURA － BPI国債
先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス － エマージング・マーケッツ・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）

※各指数についての説明は、最終ページの「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

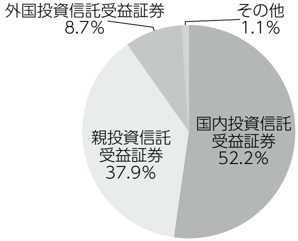
（2021年８月16日現在）

○組入上位ファンド

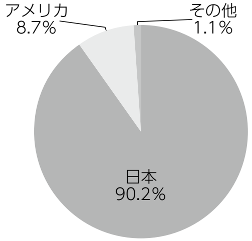
銘　　　　　柄　　　　　名	第13期末
	%
為替ヘッジ付ソブリンオープン（適格機関投資家専用）	52.2
農業関連日本株マザーファンド	37.9
Invesco DB Agriculture Fund	8.7
組入銘柄数	3銘柄

（注）比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。
（注）組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

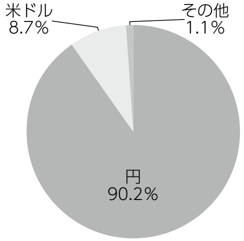
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



（注）比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100％超となる場合があります。
（注）国別配分につきましては発行国を表示しております。
（注）その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

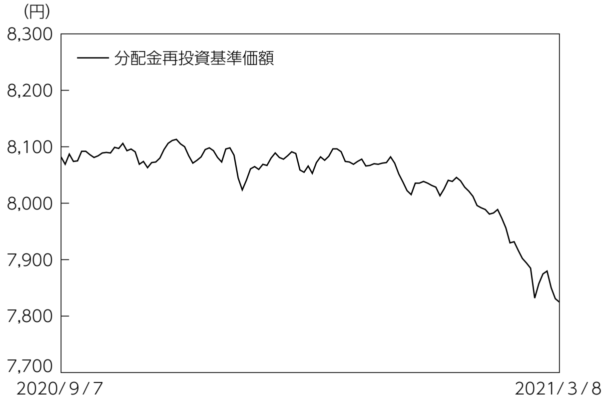
項　　　目	第13期末
	2021年８月16日
純　資　産　総　額	728,056,637円
受　益　権　総　口　数	684,205,746口
１万口当たり基準価額	10,641円

（注）期中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は36,693,690円です。

組入上位ファンドの概要

為替ヘッジ付ソブリンオープン（適格機関投資家専用）

【基準価額の推移】



【１万口当たりの費用明細】

（2020年９月８日～2021年３月８日）

項　　　目	第130期 ～ 第135期	
	金　額	比　率
	円	%
(a) 信　託　報　酬	9	0.110
（　投　信　会　社　）	(7)	(0.082)
（　販　売　会　社　）	(0)	(0.005)
（　受　託　会　社　）	(2)	(0.022)
(b) そ　の　他　費　用	2	0.019
（　保　管　費　用　）	(1)	(0.013)
（　監　査　費　用　）	(1)	(0.007)
（　そ　の　他　）	(0)	(0.000)
合　　計	11	0.129
作成期間中の平均基準価額は、7,964円です。		

（注）上記項目の概要につきましては、運用報告書（全体版）をご参照ください。
（注）作成期間中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
（注）各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
（注）各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第３位未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

（2021年３月８日現在）

	銘　柄　名	業種/種別等	通　貨	国（地域）	比率
					%
1	DEUTSCHLAND REP 6.5	国債証券	ユーロ	ドイツ	10.5
2	SWEDISH GOVRNMNT 3.5	国債証券	スウェーデンクローナ	スウェーデン	8.4
3	SWEDISH GOVRNMNT 2.25	国債証券	スウェーデンクローナ	スウェーデン	7.6
4	US TREASURY N/B 6.125	国債証券	米ドル	アメリカ	6.1
5	SWEDISH GOVRNMNT 2.5	国債証券	スウェーデンクローナ	スウェーデン	6.0
6	SINGAPORE GOV'T 3.5	国債証券	シンガポールドル	シンガポール	5.9
7	CANADA-GOV'T 8	国債証券	カナダドル	カナダ	5.8
8	DEUTSCHLAND REP 4.75	国債証券	ユーロ	ドイツ	5.0
9	CANADA-GOV'T 8	国債証券	カナダドル	カナダ	4.8
10	SINGAPORE GOV'T 3.125	国債証券	シンガポールドル	シンガポール	4.5
組入銘柄数		20銘柄			

（注）比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。
（注）組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。
（注）国（地域）につきましては発行国を表示しております。

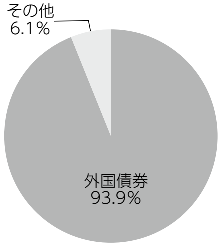
【外国為替予約取引の状況】

（2021年３月８日現在）

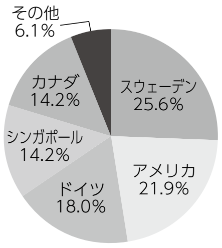
通貨 買い	通貨 売り	比　率
日本円	スウェーデンクローナ	25.3%
日本円	米ドル	21.5%
日本円	ユーロ	17.6%
日本円	カナダドル	14.7%
日本円	シンガポールドル	14.3%

（注）比率は当ファンドの純資産総額に対する予約外貨評価額の割合です。

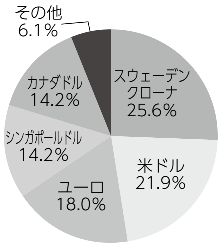
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】

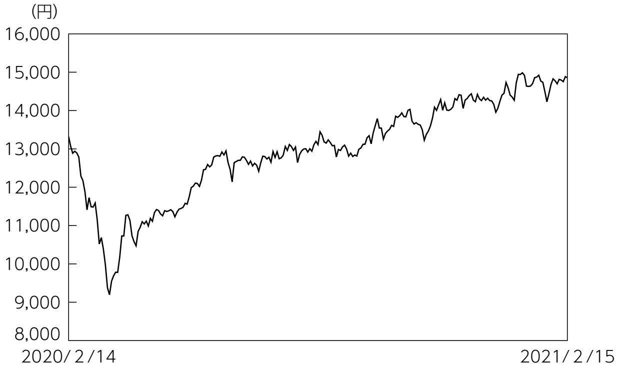


（注）比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。
（注）国別配分につきましては発行国を表示しております。
（注）通貨別配分につきましては組入債券の通貨別比率を表示しております。
（注）その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

組入上位ファンドの概要

農業関連日本株マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2020年2月15日～2021年2月15日)

項目	当期 金額	当期 比率
	円	%
(a) 売買委託手数料	51	0.396
(株式)	(51)	(0.396)
(b) その他費用	0	0.000
(その他)	(0)	(0.000)
合計	51	0.396
期中の平均基準価額は、12,861円です。		

(注) 上記項目の概要につきましては、運用報告書（全体版）をご参照ください。
(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

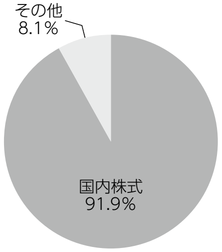
【組入上位10銘柄】

(2021年2月15日現在)

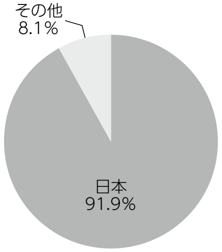
	銘柄名	業種／種別等	通貨	国（地域）	比率
					%
1	デンソー	輸送用機器	円	日本	7.3
2	クボタ	機械	円	日本	7.2
3	ＡＤＥＫＡ	化学	円	日本	6.8
4	信越化学工業	化学	円	日本	6.5
5	三菱ケミカルホールディングス	化学	円	日本	6.5
6	日産化学	化学	円	日本	6.4
7	イオン	小売業	円	日本	6.2
8	オリックス	その他金融業	円	日本	6.1
9	北興化学工業	化学	円	日本	5.9
10	ウエストホールディングス	建設業	円	日本	5.9
組入銘柄数		27銘柄			

(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。
(注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。
(注) 国（地域）につきましては発行国を表示しております。

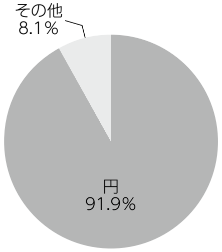
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。
(注) 国別配分につきましては発行国を表示しております。
(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

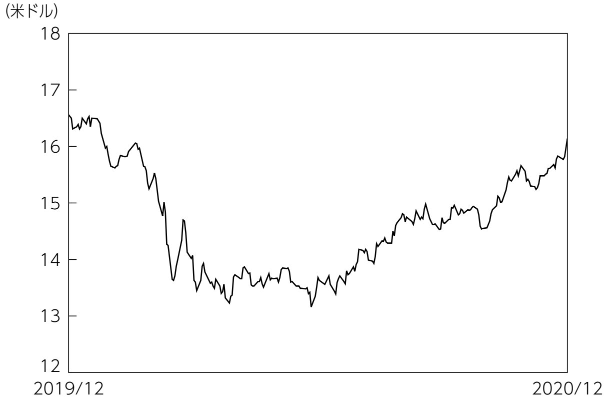
当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は、運用報告書（全体版）をご覧ください。

組入上位ファンドの概要

Invesco DB Agriculture Fund

※Bloombergおよびインベスコ・キャピタル・マネジメント・エルエルシーのデータを基に、岡三アセットマネジメントが作成し掲載しております。

【基準価額の推移】



【１万口当たりの費用明細】

当ファンドは外国の取引所に上場しているＥＴＦのため、該当データは公表されておりません。

【組入上位10銘柄】

(2020年12月31日現在)

	銘　柄　名	業種／種別	通貨	国（地域）	比率
					%
1	U.S. Treasury Bills, 0.080% due March 11, 2021	国債証券	米ドル	アメリカ	13.9
2	U.S. Treasury Bills, 0.090% due June 10, 2021	国債証券	米ドル	アメリカ	9.2
3	U.S. Treasury Bills, 0.140% due October 7, 2021	国債証券	米ドル	アメリカ	9.2
4	—	—	—	—	—
5	—	—	—	—	—
6	—	—	—	—	—
7	—	—	—	—	—
8	—	—	—	—	—
9	—	—	—	—	—
10	—	—	—	—	—
組入銘柄数		3銘柄			

（注）比率は、「Invesco DB Agriculture Fund」の純資産総額に対する割合です。
（注）国（地域）につきましては、発行国を表示しております。

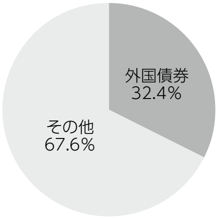
【先物取引の状況】

(2020年12月31日現在)

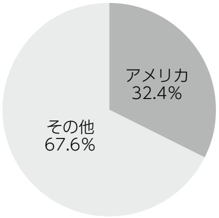
	買建／売建	比　率
		%
商品先物	買建	100.0

（注）比率は、「Invesco DB Agriculture Fund」の純資産総額に対する割合です。

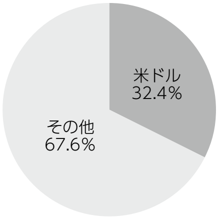
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



（注）比率は、「Invesco DB Agriculture Fund」の純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。
（注）国別配分につきましては、発行国を表示しております。

参考情報：商品先物の構成比率

(2020年12月31日現在)

品　目	比　率	品　目	比　率
	%		%
トウモロコシ	13.0	豚赤身肉	8.1
大豆	12.8	ＨＲＷ小麦（注）	6.2
砂糖	12.3	小麦	6.0
コーヒー	12.1	肥育用素牛	3.9
生牛	11.6	綿	2.8
カカオ	11.2	—	—

（注）比率は、「Invesco DB Agriculture Fund」のポートフォリオに対する買建額の割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。
（注）ＨＲＷ小麦は米国のカンザスシティ商品取引所に上場されている硬質赤冬小麦（Hard Red Winter Wheat）先物です。

＜当ファンドの参考指数について＞

FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ヘッジ・円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

○東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。

○MSCI － KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI － KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○NOMURA － BPI国債

NOMURA － BPI国債は、野村證券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA － BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村證券株式会社に帰属します。

○FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス － エマージング・マーケッツ・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス － エマージング・マーケッツ・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス － エマージング・マーケッツ・グローバル・ディバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。